

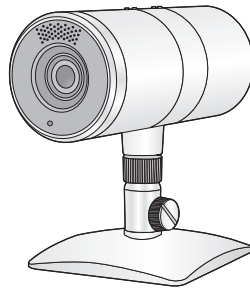
Panasonic®

取扱説明書

施工説明付き

HD コミュニケーションカメラ

品番 **AW-VC2**



保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 施工前に「安全上のご注意」(8～10ページ)を必ずお読みください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(22～26ページ)を必ずお読みください。
- 本機の操作や設定のしかたは、接続するHD映像コミュニケーションユニットの取扱説明書をお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください

施工説明：8～10 ページ

取扱説明：22～26 ページ

はじめに

必ずお読みください	3
付属品	4
各部の名前	5
● 本機の構成 (5)	
● 各部の名前 (5)	
● 台座 / 台座カバーの取り付け方 (6)	
● リアカバーを外す / 付ける (7)	

施工説明

設置上のご注意	11
接続・設置のしかた	13
● 設置場所を確認する (13)	
● 電源を準備する (14)	
● ケーブルを接続する (15)	
● 天井つり下げ設置する (17)	
● 据え置き設置する (19)	
● 三脚に取り付ける (19)	

取扱説明

本機の特長	27
使用上のお願い	28
電源を入れる / 切る	30
出荷時設定	30
故障かな！？と思ったら	31
著作権について	32
定格	33
保証とアフターサービス (よくお読みください)	34

必ずお読みください

■ HD 映像コミュニケーションシステムについて

本機の操作や設定は、本機に接続された HD 映像コミュニケーションユニットのリモコン操作によって行います。そのため、HD 映像コミュニケーションユニットと接続され、正常に動作しているときだけ本機を操作できます。詳しい説明は HD 映像コミュニケーションユニットの取扱説明書をお読みください。

■ 本書での記載について

以下のように記載しています。

- 参照いただくページ→ P00
- HD 映像コミュニケーションユニット (KX-VC300、KX-VC600)
→ 「HD コムユニット」

■ 本書内の写真、イラストについて

本書内の製品姿図・イラスト・メニュー画面などは実物と多少異なりますが、ご了承ください。

■ プライバシー・肖像権について

カメラの設置や利用につきましては、ご利用されるお客様の責任で被写体のプライバシー（マイクで拾う音声に対するプライバシーを含む）、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

■ 免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ① 本機に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ② お客様の誤使用や不注意による障害または本機の破損など
- ③ お客様による本機の分解、修理または改造が行われた場合
- ④ 本機の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示できないことによる不便・損害・被害
- ⑤ 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- ⑥ 登録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと

付属品



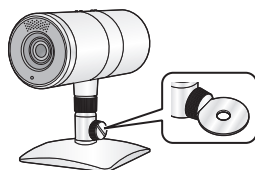
以下の付属品がすべて入っているかお確かめください。

<input type="checkbox"/> 台座 三脚使用時に、台座突起部と台座固定ねじ、スプリングワッシャーを取り外します。(P20)	<input type="checkbox"/> 固定ねじ (ドライバー用) 長さ 5.7 mm、シルバー、M4 天井つり下げ設置時に、固定ねじ (手回し用) の代わりに使います。(P17)
<input type="checkbox"/> 落下防止ワイヤー	<input type="checkbox"/> 台座カバー
<input type="checkbox"/> AC アダプター	<input type="checkbox"/> USB 接続ケーブル
<input type="checkbox"/> M4 ねじ 長さ 20 mm (4 本)	<input type="checkbox"/> M3 ねじ 長さ 8 mm
<input type="checkbox"/> 平ワッシャー (M4 ねじ用)	<input type="checkbox"/> 平ワッシャー (M3 ねじ用)
<input type="checkbox"/> 結束バンド (2 本)	<input type="checkbox"/> ねじ回しプレート
<input type="checkbox"/> 固定ねじ (手回し用) (本体に装着済み)	固定ねじ (手回し用) を確実に締めるために使います。 結束バンド通し穴に取り付けてお使いください。(P5)

- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- 台座 / 台座カバーの取り付け方については、6 ページをお読みください。

■ ねじ回しプレートの使い方

固定ねじ (手回し用) の溝に差し込んで回してください。

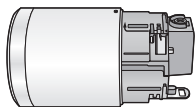


各部の名前

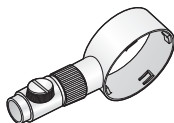
本機の構成

本機は、本体部、ミドルリング部およびリアカバーより構成されています。

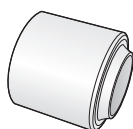
本体部



ミドルリング部



リアカバー



- リアカバーを外す / 付ける (P7)
- 天井つり下げ設置でミドルリング部の上下を反転させるときに、ミドルリング部を外します。(P15)
- ミドルリング部には前後があります。ミドルリング部の取り付け時は、前後にお気をつけください。(P16)
- ミドルリング部のスペーサーは、台座取り付け後 (P6) に、引き抜いてください。
スペーサーは抜いたあと、適切に処理をしてください。

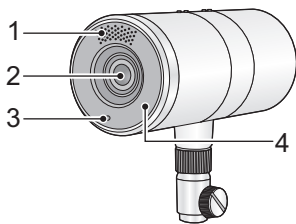


はじめに

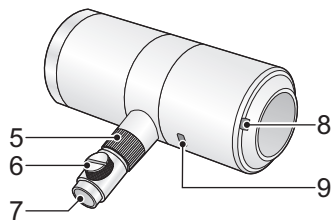
施工説明

取扱説明

各部の名前



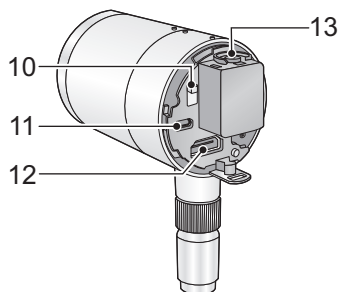
- 1 内蔵ステレオマイク
- 2 レンズ
- 3 状態表示ランプ
 - ー 橙色点灯：スタンバイ状態
 - ー 緑色点灯：電源オン状態
 - ー 緑色点滅：
リモコン信号を受信しているとき
- 4 リモコン信号受光部



- 5 緩み防止補助ねじ
- 6 固定ねじ (手回し用) (P6、20)
天井つり下げ設置時には、固定ねじ (ドライバー用) に付け替えます。(P17)
- 7 台座取り付け穴 (P6、20)
- 8 結束バンド通し穴 (P17)
- 9 盗難防止ワイヤー取り付け穴 (P17)
盗難防止ワイヤー (市販品) を取り付けます。

固定ねじ (手回し用) を締めても、カメラの水平の向きが固定されないときに締めてください。

■ リアカバー取り外し時



10 RELEASE レバー (P15)

11 USB 端子 [] (P16)

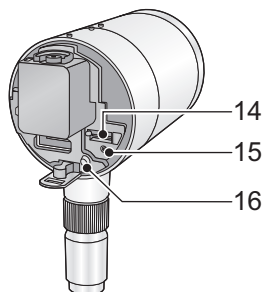
付属の AC アダプターまたは HD コムユニット本体とつないで電源を供給できます。付属の USB 接続ケーブルをお使いください。

12 HDMI 端子 (P16)

13 落下防止ワイヤー取り付け部 (P16)

14 microSD カード挿入部

本機のソフトウェアをアップデートするときに使います。(通常は使用しません)



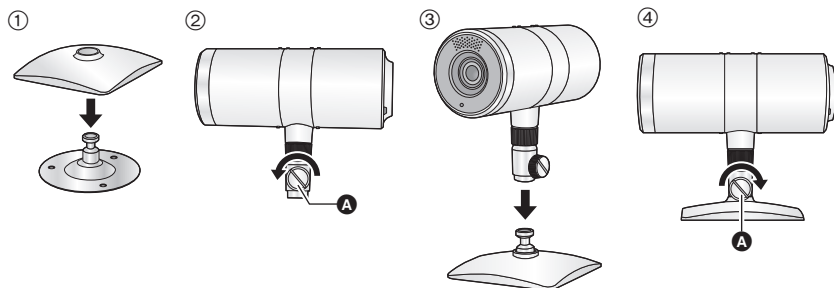
15 INIT ボタン

電源オン状態のときに押すと、各設定項目を出荷時設定に戻します。(P30)

16 電源ボタン []

スタンバイ状態や電源が切のときに押すと電源オン状態になります。スタンバイ状態や電源オン状態のときに長押しすると電源が切れます。

台座 / 台座カバーの取り付け方



1 (台座カバーを使うときのみ)
台座に台座カバーをかぶせる

2 固定ねじ (手回し用) **A** を緩める

3 台座取り付け穴に台座を差し込む

4 固定ねじ（手回し用）**A**を締める

- ぐらつきがないようにしっかりと締めてください。
- しっかりと締めるには、ねじ回しプレートを使うと便利です。（P4）

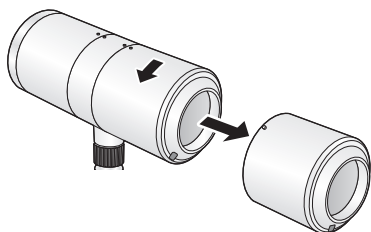
固定ねじ（手回し用）を緩めると、カメラの向きを任意に調整できます。（上下方向は約23°まで調整できます）設置場所に合わせてカメラの向きを調整してください。

- 調整後は固定ねじ（手回し用）をしっかりと締めてください。
- 固定ねじ（手回し用）を締めた状態でカメラの向きを調整しないでください。

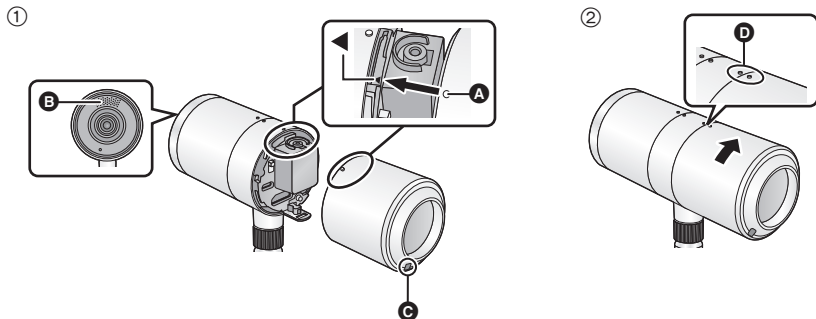
リアカバーを外す / 付ける

リアカバーを外す

リアカバーを矢印の向きに回して外す



リアカバーを付ける



1 本体部の◀のマークとリアカバーのマーク**A**の位置を合わせて差し込む

- 内蔵ステレオマイク**B**を上、結束バンド通し穴**C**を下にした状態で取り付けます。（反対の状態では取り付けできません）


2 リアカバーを矢印の向きに回して取り付ける


- ミドルリング部とリアカバーのマーク**D**の位置を合わせてください。

安全上のご注意 必ずお守りください


人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。


■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。


 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。


 してはいけない内容です。


 実行しなければならない内容です。

警告

-  下記の場所には設置しない
- ・湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気、熱が当たるところ
 - ・振動や衝撃の加わるおそれのあるところ
 - ・暖房機器の熱風が当たるところ
 - ・エアコンの下など、水滴がかかるおそれがあるところ
 - ・塩害や腐食性ガスが発生するところ

火災や感電、落下の原因になります。

-  工事専門業者以外は高所への取り付け工事を行わない
工事の不備により、落下してけがの原因となります。

-  台座を改造しない
壊れたり落下して、けがの原因となります。

警告



ケーブルをステップルで固定しない
火災の原因になります。



総質量に耐える場所に取り付ける
取り付け場所の強度が不十分なとき、落下や転倒などでけがの原因になります。

- 十分な強度に補強してから取り付けてください。



振動のないところに設置する
取り付けねじやボルトが緩み、落下などでけがの原因になります。



取扱説明書（本書）に従って、床／天井にしっかりと取り付ける
落下などでけがの原因になります。



専用の取り付け金具を使用する
落下によるけがの原因になります。
● 設置の際は、付属の台座を使用してください。



落下防止対策を施す
落下によるけがの原因になります。
● 落下防止ワイヤーを必ず取り付けてください。



ねじや固定機構はしっかりと締め付ける
締め付けが緩むと、落下などでけがの原因になります。
● 「設置上のご注意」（11～12ページ）、「接続・設置のしかた」（13～21ページ）を参照してください。



配線は、電源を切ってから行う
感電の原因になります。また、ショートや誤配線により火災の原因になります。

注意



放熱を妨げないように取り付け

放熱を妨げると火災の原因になることがあります。



取り付けねじが床／天井内部の電気配線に接触しないように設置する

感電の原因になることがあります。

設置上のご注意

この施工説明に従わない設置、取り付けによる事故、損害については、当社は一切の責任を負いません。

工事業者様へ

この「施工説明」をよくお読みのうえ、正しく安全に工事を行ってください。
また、8～10ページの「安全上のご注意」は重要な内容ですので、必ずお読みください。
工事完了後は、この「取扱説明書」をお客様にお渡しいただき、保管いただきますようお願いいたします。

設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください

本機は屋内専用です

屋外での使用はできません。

長時間直射日光の当たるところや、冷・暖房機の近くには設置しないでください。

変形、変色または故障・誤動作の原因になります。また、水滴または水まつのかからない状態で使用してください。

本機はつり下げまたは据え置きにてご使用ください

横向きでの使用はおやめください。

- ねじ止め設置を行うときは、必ず付属のねじを使用してください。木ねじおよびくぎ等は使用しないでください。コンクリート天井の場合は、アンカーボルト（M4用）またはAYプラグボルト（M4用）で固定してください。
締め付けトルク：1.176 N・m（12 kgf・cm）
- 取り付け条件（天井つり下げ設置 / 据え置き設置）
 - － 本機の質量：253 g（台座、台座カバー、ミドルリング部およびリアカバーを含む）
 - － 最低引き抜き強度（ねじ1本当たり）：147 N（15 kgf）
 - － ねじ数：3本

設置場所について

揺れない安定した場所に設置してください。設置場所の揺れにより、映像の揺れの原因になります。

お買い上げの販売店とよくご相談のうえ、設置してください。

強度が十分ある天井（コンクリート天井など）に設置してください。

強度が不十分な天井に設置する場合は、十分な補強を施してください。

以下のような場所での設置および使用はしないでください

- 壁面（横向きの設置）
- 雨や水が直接かかる場所（軒下なども含む）
- ちゅう房など蒸気や油が多い場所
- 屋外や40℃を超える暑い場所
- 0℃を下回る寒い場所
- 湿度が80%RHを超える場所

- プールなど、薬剤を使用する場所
- 海上や海岸通り、および腐食性ガスが発生する場所
- 放射線や X 線および強力な電波や磁気が発生する場所
- 車両や船舶などの振動の多い場所（本機は車載用ではありません）
- エアコンの吹き出し口近くや外気の入り込む扉付近など、急激に温度が変化する場所

長時間安定した性能でお使いいただくために

- 高温・多湿の場所で長時間使用すると、部品の劣化により寿命が短くなります。
- 設置場所への冷房や暖房などの風が直接当たらないようにしてください。

本機の設置には、必ず付属の台座およびねじを使用してください

- 指定方法以外の取り付けは行わないでください。
- 本機に付属の台座やねじは、改造しないでください。

設置を行う前に、必ず電源プラグを抜いてください

取り付けねじの締め付けについて

- ねじやボルトは取り付け場所の材質や構造物に合わせてしっかりと締め付けてください。
- ねじやボルトを締めたあとは、がたつきがなく、しっかりと締められていることを確認してください。
- 所定の工具にて確実に締め付けてください。
- ねじの締め付けの際は指定のトルクドライバーなどを使用し、電動ドライバー、インパクトドライバーを使用しないでください。

使用しない場合は放置せず、必ず撤去してください

本機にフィルター、フード、エクステンダーなどを取り付けしないでください

付属の専用 AC アダプターおよび USB 接続ケーブルを使用してください

AC アダプターと USB 接続ケーブルは確実に接続してください。

AC アダプターの接続について

AC アダプターは、必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続してください。

- ① 電源制御ユニットを介して接続する。
- ② 3.0 mm 以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは、保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用する。

ノイズ障害が考えられる場合

AC 100 V 以上の電力線（電灯線）と信号ケーブルを 1 m 以上離して配線工事を行うか、別々の金属管に通す配管工事を行ってください。（金属管は必ずアースを取ってください）

電波障害について

テレビやラジオの送信アンテナ、強い電界や磁界（モーターやトランス、電力線など）の近くでは、映像がゆがんだり、ノイズが入ったりすることがあります。

ケーブル配線時には、コネクタ部に負荷がかからないようにしてください
故障の原因になります。

放熱について

本機は、本体表面から放熱させています。
壁などに囲まれ、熱がこもる場所には設置しないでください。

接続・設置のしかた

「安全上のご注意」(P8 ~ 10) および「設置上のご注意」(P11 ~ 12) を必ずお読みください。

以下の順番で接続・設置してください。

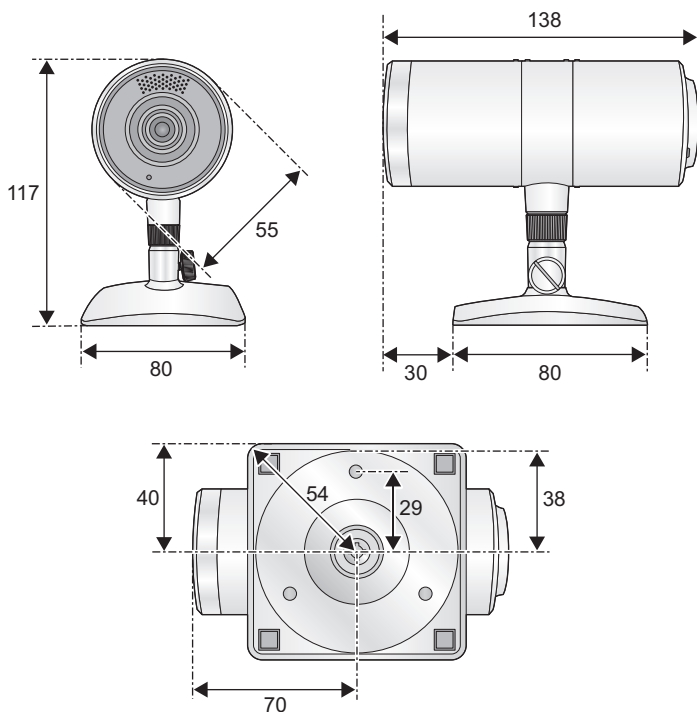
- ① 設置場所を確認する
- ② 電源を準備する
- ③ ケーブルを接続する
- ④ 天井つり下げ設置する / 据え置き設置する / 三脚に取り付ける

設置場所を確認する

イラストを参考にして、本機の取り付け範囲と背面の配線スペースを十分考慮しながら、設置場所と取り付け方向を決めてください。

- リアカバー背面の配線スペースは、最低 200 mm 以上確保してください。

単位 : mm



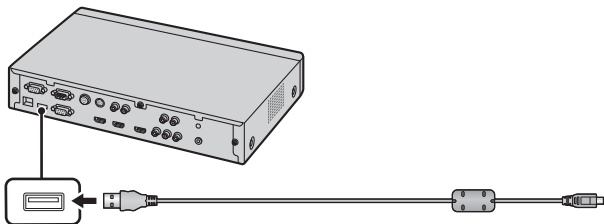
電源を準備する

本機は HD コミュニットまたは電源コンセントから電源を供給することができます。

(HD コミュニットから電源を供給する場合)

HD コミュニットに USB 接続ケーブルをつなぐ

- HD コミュニットの電源が入っているときに、HD コミュニットから電源を供給します。



(電源コンセントから電源を供給する場合)

USB 接続ケーブルを AC アダプターにつなぎ、AC アダプターを電源コンセントにつなぐ

- AC アダプターのプラグ部分にゆるみ、ずれがないか確認してください。

- AC アダプター、USB 接続ケーブルは付属のものをお使いください。
- AC アダプター、USB 接続ケーブルは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の AC アダプター、USB 接続ケーブルを本機に使用しないでください。
- 天井で使用するコンセントに関しては、ほこりなどによるトラッキングの防止策を必ず施してください。

ケーブルを接続する

- 天井に設置する場合は、天井内で HDMI ケーブル、USB 接続ケーブル、盗難防止ワイヤーを接続し、ケーブル通し穴より各ケーブルを引き出しておいてください。
- HDMI ケーブルは、HDMI ロゴ（表紙）のある「High Speed HDMI ケーブル」をお買い求めください。HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。下記の当社製 HDMI ケーブル（別売）を推奨します。
品番：RP-CDHS15（1.5 m）、RP-CDHS30（3.0 m）
- USB 接続ケーブルは付属のものをお使いください。
- 下記の手順 2～3 は、天井つり下げ設置時のみ行ってください。

1 リアカバーを外す（P7）

2（天井つり下げ設置時のみ）

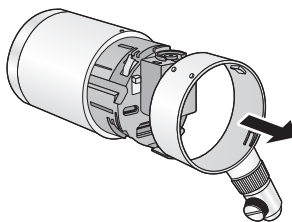
ミドルリング部を外す

- ① RELEASE レバーをスライドしながら、ミドルリング部を矢印の方向に回転させる
- ② 本体部からミドルリング部を引き抜く

①



②



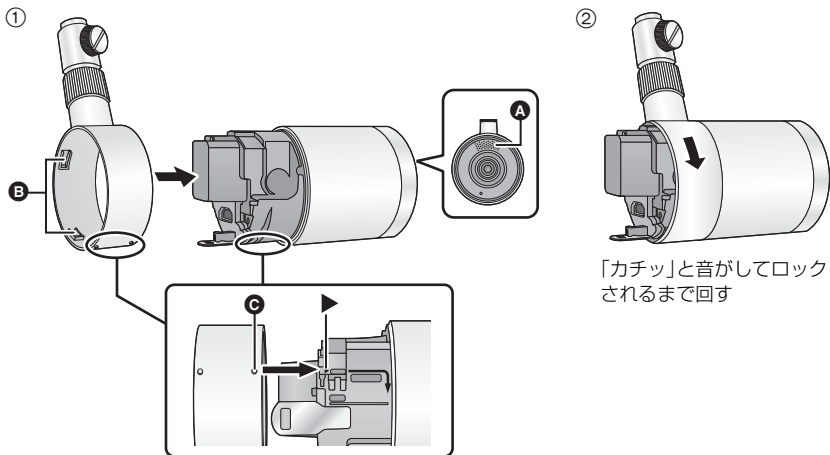
3 (天井つり下げ設置時のみ)

ミドルリング部を上下反転させた状態で本体部に取り付ける

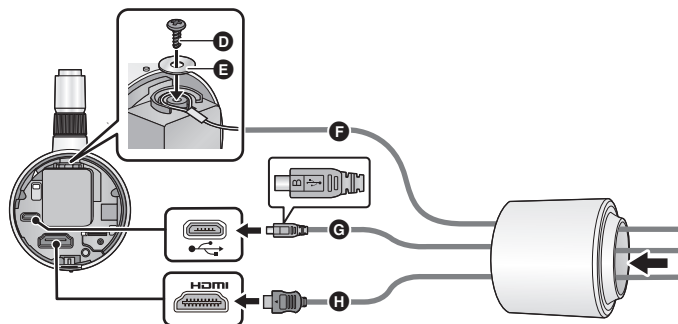
① 本体部にミドルリング部を差し込む

- 内蔵ステレオマイク **A** の位置で本体部の上下を確認してください。
- 溝 **B** の反対側から本体部に差し込んでください。
- 本体部の **▶** のマークにミドルリング部のマーク **C** を合わせて差し込んでください。

② ミドルリング部を矢印の方向に回して取り付ける

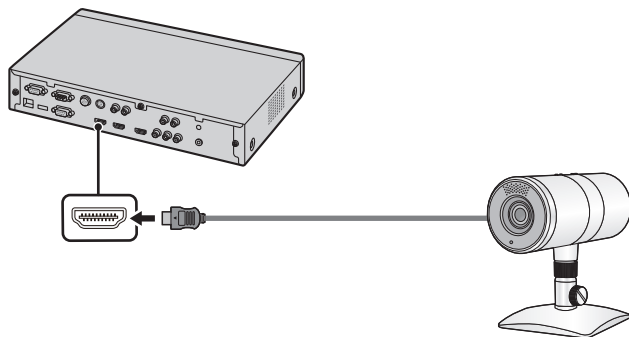


4 各ケーブルをリアカバーに通し、本体部の後部に接続する



- D** M3 ねじ (付属)
締め付けトルク : $0.882 \text{ N} \cdot \text{m}$ (9 kgf · cm)
- E** 平ワッシャー (M3 ねじ用、付属)
- F** 落下防止ワイヤー (付属)
- G** USB 接続ケーブル (付属)
● ケーブルの **▶** マークを上にして差し込んでください。
- H** HDMI ケーブル (別売)

- 5 リアカバーを取り付ける (P7)
- 6 盗難防止ワイヤーをつなぐ
- 7 HDMI ケーブルを HD コムユニットにつなぐ



お知らせ

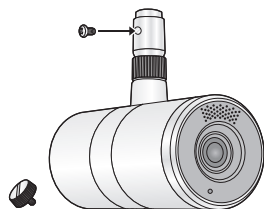
- 必要に応じて、結束バンドを結束バンド通し穴に通し、ケーブルを束ねてください。

天井つり下げ設置する

天井つり下げ設置するときは、必ず落下防止ワイヤーを取り付けてください。

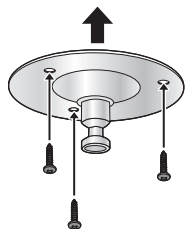
1 固定ねじ (手回し用) を外し、ねじ穴に固定ねじ (ドライバー用) を取り付ける

- 天井つり下げ設置では、固定ねじ (手回し用) を使わないでください。



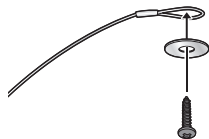
2 M4 ねじ (付属) で台座を天井に取り付ける

- 締め付けトルク : $1.176 \text{ N} \cdot \text{m}$ (12 kgf · cm)
- 3か所をねじ止めしてください。
- 付属のねじ以外 (木ねじ、くぎ等) は使用しないでください。
- 傾きやぐらつきがなく、しっかりと取り付けられていることを確認してください。
- 落下防止ワイヤーは台座とは別にねじ止めしてください。



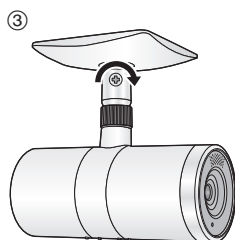
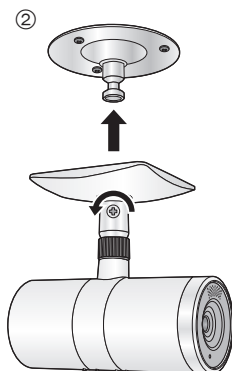
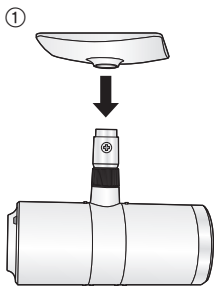
3 M4 ねじ（付属）と平ワッシャー（M4 ねじ用、付属）で落下防止ワイヤーを天井に取り付ける

- 締め付けトルク：1.176 N・m (12 kgf・cm)
- 落下防止ワイヤーを引っ張り、確実に取り付けられていることを確認してください。
- 落下防止ワイヤーは、本機をつり下げを想定して設計されていますので、本機以外の負荷は加えないでください。



4 カメラを台座に固定する

- ① ミドルリング部に台座カバーを載せる
 - ② 固定ねじ（ドライバー用）を緩めて、台座取り付け穴に台座を差し込む
 - ③ 固定ねじ（ドライバー用）を締めて、カメラを台座に固定する
- 締め付けトルク：1.176 N・m (12 kgf・cm)
 - 所定の工具を使って確実に取り付けてください。
 - 固定する前に、カメラの向きを調整してください。



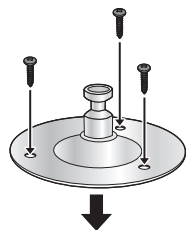
据え置き設置する

台座 / 台座カバーをカメラに取り付けて設置する (P6)

- 台座を固定する場合は、M4 ねじ (付属) で設置面にねじ止めしてから、台座カバーとカメラを取り付けてください。

- 締め付けトルク : 1.176 N · m (12 kgf · cm)

- 本機は、水平に置いてください。
- 揺れない安定した場所に設置してください。設置場所の揺れにより、映像の揺れの原因になります。
- 設置する際は、落下等に十分気をつけてください。
- 接続したケーブルを引っかけないようにお気をつけてください。落下やけがの原因になります。



はじめに

施工説明

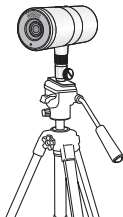
取扱説明

三脚に取り付ける

本機の三脚取り付け穴は 1/4-20UNC に対応しています。

本機は下記の2種類の 방법으로三脚に取り付けることができます。

ミドルリング部の支柱に三脚を取り付ける :



ミドルリング部の支柱を外して三脚に取り付ける :



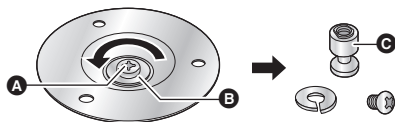
- 三脚は、段差のない平面に設置してください。
- 三脚取り付け用ねじを手でしっかり締め付けてください。
- 人の通るところには設置しないでください。
- 三脚に取り付けて使用する場合は、高所に設置しないでください。
- 緩みのないように、しっかりと取り付けてください。落下やけがの原因になります。
- 長期使用の場合には、転倒防止、落下防止の対策をとってください。また使用後は、速やかに片づけてください。

ミドルリング部の支柱に三脚を取り付ける

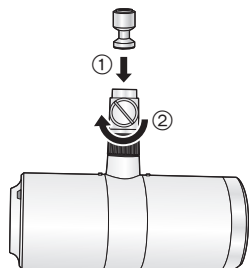
- 固定ねじ（手回し用）を緩める（P6）

- 1 台座固定ねじ **A** とスプリングワッシャー **B** を外し、台座突起部 **C** を取り外す

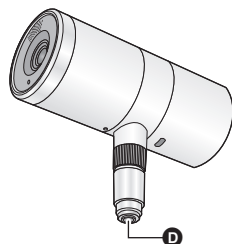
- 台座突起部を三脚取り付け穴として使います。



- 2 台座取り付け穴に台座突起部を差し込み、固定ねじ（手回し用）を締める



- 3 三脚取り付け穴 **D** に三脚を取り付ける



■ 台座をお買い上げ時の状態に戻すには

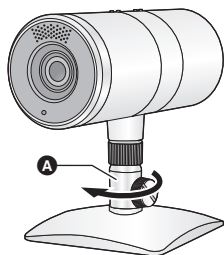
台座固定ねじとスプリングワッシャーで、台座突起部を台座にねじ止めしてください。

- 台座突起部が回転しないように、台座突起部と台座を正しく合わせてください。
- 締め付けトルク：2.94 N・m (30 kgf・cm)

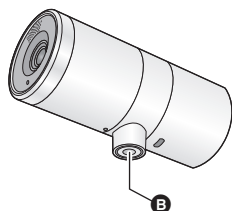
ミドルリング部の支柱を外して三脚に取り付ける

1 支柱 **A** を矢印の向きに回して外す

- 台座を取り付けて固定ねじ（手回し用）を締めた状態で回してください。



2 三脚取り付け穴 **B** に三脚を取り付ける



■ 支柱をお買い上げ時の状態に戻すには

支柱を台座に取り付けて、固定ねじ（手回し用）を締めた状態で、支柱を回して取り付けてください。

はじめに


施工説明


取扱説明

安全上のご注意 必ずお守りください


人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。


■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。


 実行しなければならない内容です。

警告



異常があったときは、AC アダプターの電源プラグを抜く
(内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで
外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき)
そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

● 販売店にご相談ください。

 ぶら下がらない、足場代わりにしない
落下などの事故の原因になります。

警告



接触禁止

雷が鳴り出したら、本機の金属部やACアダプターなどの電源プラグに触れない

感電の原因になります。



分解禁止

分解や改造をしない

火災や感電の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。

● 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



水場使用禁止

水場で使用しない

火災・感電の原因になります。



本機がぬれたり、水などの液体や異物が入らないようにする

火災や感電の原因になります。

- 雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。
- 機器の近くに、水などの液体が入った花瓶などの容器を置かないでください。



工事は販売店に依頼する

工事は技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。

● 設置、移設、電源工事は、必ず販売店にご依頼ください。



付属品・オプションは指定の製品を使用する

本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こすおそれがあります。



使用しない場合は放置せず、必ず撤去する

● 販売店にご相談ください。

⚠ 警告



- 電源プラグを破損するようなことはしない
(傷つける、加工する、高温部や熱器具に近づけるなど)
- 傷んだ電源プラグやゆるんだ電源コンセントのまま使用しない
- たこ足配線等コンセントや配線機器の定格を超える使い方や、交流100V～240V以外での使用はしない

感電・火災の原因になります。

- プラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。



不安定な場所に設置しない

落下や転倒によるけがや事故の原因になります。



ぬれた手で電源プラグやコネクタに触れない

感電・火災の原因になります。

ぬれ手禁止



電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。



電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



ねじやワッシャー、落下防止ワイヤー、結束バンド、台座突起部、ねじ回しプレート、microSDカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだら、すぐに医師にご相談ください。

注意



本機の放熱を妨げない
(押入れや本箱など、狭いところに入れない、テーブルクロス
を掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かない)

内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。



直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になります。絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。



油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。



電源プラグやコネクターを抜くときは、コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。

● 必ずプラグやコネクターを持って抜いてください。



落とさない、強い衝撃を与えない

けがや火災の原因になることがあります。



ケーブルなどは引っ張らない

火災や感電の原因になることがあります。



三脚を取り付けた状態で、本機を持って運搬しない

三脚の重量で取り付け部が破損し、けがの原因になることがあります。

● 三脚を取り付けているときは、必ず三脚を持って持ち運びしてください。



定期的に点検する

台座やねじがさびると、落下などでけがの原因になることがあります。

● 点検は販売店にご依頼ください。

注意



病院内では、病院の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。



長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

火災や感電の原因になることがあります。

電源プラグ
を抜く

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検（1年に1回を目安に）をお願いします。

本機の特長

■ 概要

- 本製品は、水平画角約 95° の広角レンズに、1/2.33 型^{*}、有効画素数 391 万画素の高感度 MOS センサーとデジタルシグナルプロセッサー（DSP）を採用した、コンパクトなカメラです。

※ MOS センサーの有効サイズは 1/4.37 です。

- プリセットメモリー使用時は、デジタルパン / チルト / ズームで瞬時に画像切り換えができ、静かな撮影が可能です。（ズーム倍率が 1 倍のときはパン / チルトできません）
- トリミングズームにより、映像の一部を切り出し、画面の四隅に表示できます。
- iA ズーム約 2 倍に加え、約 4 倍のデジタルズームを備えており、高品質で臨場感あふれる撮影が可能です。
（iA ズーム：HD 画質の美しさを維持したズーム）
- 本製品は、当社製 HD 映像コミュニケーションユニット専用モデルです。
対象機種：KX-VC300、KX-VC600

■ 特長

水平画角約 95° の広角レンズに、1/2.33 型高感度 MOS センサーを採用

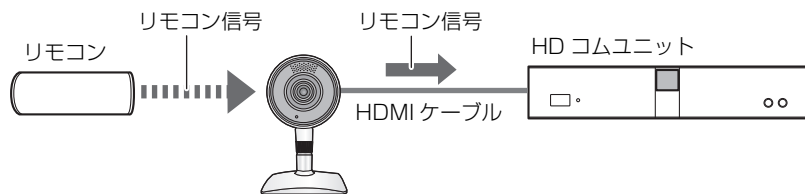
- 白飛びや黒つぶれを補正するダイナミックレンジストレッチ（DRS）を搭載し、幅広い用途で鮮明な映像を再現します。

HD 映像コミュニケーションユニットのリモコンですべての操作が可能

- 各種機能の設定や切り換えも、メニュー画面を見ながら簡単に行うことができます。（HD 映像コミュニケーションユニットが動作しているときだけ操作できます）

リモコンスルーおよび USB 給電で柔軟な設置

- カメラ前面に赤外線受光部を搭載。HD 映像コミュニケーションユニット本体のリモコン操作を受光し、HDMI ケーブルを通じて HD 映像コミュニケーションユニット本体をコントロールできます。



- USB での給電に対応。HD 映像コミュニケーションユニット本体や USB バッテリーチャージング規格に対応した機器からも、USB 接続ケーブルを使って給電ができます。

コンパクトな本体設計で省エネルギーを追求

- 小型・軽量化により、低消費電力を実現。

使用上のお願い

撮影は適正な照明で

美しいカラー映像を得るには、適正な照明で撮影してください。

蛍光灯の照明では、正しい色が出にくいことがあります。必要に応じて適正な照明をお選びください。

長時間安定した性能でお使いいただくために

高温・多湿の場所で長時間使用した場合は、部品の劣化により寿命が短くなります。

(推奨温度 35℃以下)

設置場所の冷房および暖房などの風が直接当たらないようにしてください。

強い光にカメラを向けない

MOS センサーの一部にスポット光のような強い光が当たると、ブルーミング（強い光の周りがにじむ現象）が生じることがあります。

高輝度の被写体では

きわめて明るい光源がレンズに向けられていると、フレアが生じることがあります。その場合は、アングルを変えるなどしてください。

使用温度範囲は

0℃を下回る寒いところや 40℃を超える暑いところでの使用は、画質の低下や内部の部品に悪影響を与えますので避けてください。

また、低温でのご使用時は、映像が安定するのに数分かかる場合があります。ご使用前にあらかじめ電源を入れておくことをお勧めします。

HDMI について

本機は HDMI 認証機器ですが、接続される HDMI 機器によってはまれに出画しない場合があります。

ケーブルの抜き差しは電源を切って

ケーブルの抜き差しは、必ず機器の電源を切ってから行ってください。

取り扱いには丁寧に

落としたり強い衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因になります。

使用しない場合は

使用しないときは電源を切ってください。

使用しなくなったら放置せず、必ず撤去してください。

光学系には触れない

光学系には絶対に触れないでください。

万一、ほこりがついた場合は、カメラ用のブローヤやレンズクリーニングペーパーで軽く清掃してください。

太陽光に向けない、レーザー光に向けない

太陽光・レーザー光などを長時間撮像すると、MOS センサーを傷める原因となります。

本機を長時間使わない

長時間使うと、内部に熱がこもり故障するおそれがあります。

水をかけない

直接水をかけないでください。故障の原因になります。

お手入れは

お手入れは、電源を切ってから行ってください。けがの原因になります。

乾いた柔らかい布でふいてください。ベンジン・シンナーなど揮発性のものをかけたり、使用したりしないでください。ケースが変色することがあります。

湿気、ほこりの少ないところで

湿気、ほこりの多いところは、内部の部品が傷みやすくなりますので避けてください。

廃棄のときは

本機のご使用を終えて廃棄されるときは、環境保全のため専門の業者に廃棄を依頼してください。

ホームポジションについて

ホームポジションとは、本機の電源起動時に最初に読み出される設定です。ホームポジションの設定（ズーム倍率 1 倍、明るさ、ホワイトバランス）は、プリセット5の設定と同じになっています。ホームポジションの設定を変更したい場合は、プリセット5に登録してください。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた個人情報に該当します。[※]
法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

[※] 経済産業省「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

電源を入れる / 切る

■ 電源を入れる

本機は以下の2つの条件が揃うと電源オン状態になります。

- 本機に電源が供給されている (P14)
- 電源が入ったHDコムユニットとHDMIケーブルで接続されている

本機の電源切



電源を供給する

スタンバイ状態

状態表示ランプ：橙色点灯



HDコムユニットの電源が入っており、HDMIケーブルで正しく接続されている場合
(映像が表示されるまで約10秒かかります。また、他のカメラが接続していると、映像が表示されるまでさらに時間がかかる場合があります)

電源オン状態

状態表示ランプ：緑色点灯

■ 電源を切る

本機の電源供給を切断すると、電源が切れます。

- HDコムユニットから電源供給しているときは、HDコムユニットの電源を切ると、本機の電源が切れます。

■ モード移行について

- HDコムユニットがスクリーンスタンバイ状態*になると、本機はスタンバイ状態になります。HDコムユニットがスクリーンスタンバイ状態から復帰すると、本機は電源オン状態になります。
※スクリーンスタンバイ機能については、HDコムユニットの取扱説明書をお読みください。
- ACアダプターから電源供給しているときに、HDコムユニットの電源を切ると、約60秒後に本機はスタンバイ状態になります。
- HDMIケーブルの接続を解除すると、約60秒後に本機はスタンバイ状態になります。

出荷時設定

設定項目	出荷時設定
明るさの調整	標準
ホワイトバランス	自動
バックライト補正	しない
デジタルズーム	しない
トリミングズーム	しない

故障かな!?と思ったら

■ 次のような場合は、故障ではありません

被写体がゆがんで見える	<ul style="list-style-type: none">● 本機の撮像素子にMOSを使用しているため、被写体が早く横切った場合、少しゆがんで見えることがありますが、故障ではありません。● 広角レンズの特性で、被写体がゆがんで見えることがありますが、故障ではありません。
撮影中にフラッシュをたくと、画面の上側あるいは下側だけが明るくなる	<ul style="list-style-type: none">● MOS撮像素子では、画面の左上と右下では撮像タイミングが少し異なるため、フラッシュをたくとそのフィールドでは下側が明るくなり、次のフィールドでは上側が明るくなります。これは故障ではありません。

こんなときは?	ご確認ください
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">● ACアダプター、USB接続ケーブル、HDMIケーブルを正しく接続してください。● HD コミュニットから電源を供給している場合は、HD コミュニットの電源が入っているかご確認ください。
操作できない	<ul style="list-style-type: none">● 状態表示ランプが緑色点灯し、本機が電源オン状態になっているかご確認ください。● 操作するカメラを正しく選択してください。詳しくは HD コミュニットの取扱説明書をお読みください。
カメラでのリモコン受信ができない	<ul style="list-style-type: none">● 本機のリモコン信号受光部に蛍光灯やプラズマモニター、太陽光などの強い光が当たっているときは、操作ができない場合があります。● リモコン信号受光部の近くで操作しても、状態表示ランプが点滅しない場合は、リモコンの電池が消耗しています。電池を交換してください。● HD コミュニット本体で、カメラでのリモコン受信の設定を有効にしてください。詳しくは HD コミュニットの取扱説明書をお読みください。

こんなときは？	ご確認ください
映像が出ない、乱れる	<ul style="list-style-type: none"> ● HD コムユニットと正しく接続してください。 ● HD コムユニットから本機を正しく選択してください。詳しくは HD コムユニットの取扱説明書をお読みください。
映像が上下逆になる	<ul style="list-style-type: none"> ● ミドルリング部を 180° 回転させて、内蔵ステレオマイクが上になるように設置してください。
映像の色がおかしい	<ul style="list-style-type: none"> ● ホワイトバランス自動設定（自動追尾式ホワイト調整）を有効にしてください。詳しくは HD コムユニットの取扱説明書をお読みください。 ● 場面によってはホワイトバランス自動設定では正しい色にならない場合があります。ホワイトバランス調整を行ってください。詳しくは HD コムユニットの取扱説明書をお読みください。
映像が明るすぎる、または暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"> ● 手動で明るさの調整をしてください。詳しくは HD コムユニットの取扱説明書をお読みください。
細かい線や周期的な模様を撮影したとき、ちらついて見えたり、色がついたりする	<ul style="list-style-type: none"> ● 撮像素子上で画素が規則正しく配列されているため発生します。被写体の空間周波数と画素ピッチが近づくと目立ちますので、アングルを変えるなどしてください。

著作権について

あなたが撮影（録画など）や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

- 本機に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、並びに輸出法令に違反した輸出行為が禁じられています。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

定格

HD コミュニケーションカメラ

電源：

DC 5.0 V (AC アダプター使用時)

消費電力：

3.4 W

撮像素子：

1/2.33 型 MOS 固体撮像素子

(撮像素子有効サイズ：1/4.37)

総画素：約 1530 万

有効画素

ビデオ：約 391 万 (16:9)

レンズ：

F2.0 (f = 2.15 mm)

35 mm 換算：約 18.0 mm 相当 (16:9)

画角：95° (水平)、56° (垂直) [ズーム 1 倍時]

最短撮像距離：約 80 cm (25 °C)

シャッター速度：1/60 ~ 1/12000

ズーム：

iA ズーム約 2 倍 / デジタルズーム約 4 倍

パン / チルト角度：

約 ±23° / 約 ±14° (iA ズーム約 2 倍時)、

約 ±35° / 約 ±21° (デジタルズーム

約 4 倍時)

マイク：

ステレオマイクロホン

ホワイトバランス：

自動追尾ホワイトバランス

標準被写体照度：1400 lx

最低照度：

約 20 lx (Auto モード 1/60 時)

HDMI 端子映像出力：

HDMI™ 1080p/1080i/720p/480p (システム周波数が 59.94 Hz 時) / 576p (システム周波数が 50 Hz 時)

HDMI 端子音声出力：リニア PCM

USB：

Micro-B 端子、

電源供給機能 (USB 端子から給電)

外形寸法：

幅 80 mm × 高さ 117 mm × 奥行き 138 mm

本体質量：

約 253 g

許容動作温度：

0 °C ~ 40 °C

許容相対湿度：

10%RH ~ 80%RH

AC アダプター

電源

AC 100 V - 240 V 50/60 Hz

入力容量

9 VA (AC 100 V 時) /

20 VA (AC 240 V 時)

出力

DC 5.0 V 1.0 A

はじめに

施工説明

取扱説明

保証とアフターサービス (よくお読みください)

故障・修理・お取扱い・メンテナンス

などのご相談は、まず、

お買い上げの販売店

へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただいた上、大切に保管してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品 8年

当社では、HD コミュニケーションカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 定期メンテナンス（保守・点検）

定期メンテナンス（保守・点検）は、お客様が安心して機器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するためのものです。部品の摩耗、劣化、ごみ、ほこりの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能を維持するために、定期メンテナンスのご契約を推奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。

定期メンテナンス(有料)についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認くださいの上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
品名	HD コミュニケーションカメラ
品番	AW-VC2
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

—このマークがある場合は—

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

パナソニック株式会社 プロフェッショナルAVビジネスユニット

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ (06) 6901-1161

©Panasonic Corporation 2012